



(新政和泉村第二回の新年を迎えた和泉村役場の偉容。村民の喜びも、悲しみも凡てこの村の中から流れでる。眞白き雪をいただき、どつしりと重みに耐える姿、吾が村の将来の行方を象徴しているようだ。)

興廢決意の年

新年を迎えて

村長 杉本又助

村民の皆様明けましておめでとうございます。新しい年を迎え皆様とよろこびを分ち合います事のできますのは何という有難い事でございましょう。今日の健康を考えられました事をまず第一に感謝致したいと思います。新年というと何となしに気持が新らしくなり、新らしい構想や希望がおのずからいてしましてこととは是非こうしたいとか、うあたりたいとか思うものであります。新たな健康の機会に当ります。新年の機会に当ります。このためて新しい問題について、本村として対処せねばならないと思うので、新しい理想郷の建設をして当面せる問題について、本村古来、穴馬の郷として清き九頭龍川の上流地帯の同一環境の下に育つた以上、下兩村がこん然一体となつて、新しい理想郷の建設を目指して昭和三十一年九月三十日

、和泉村として発足してから一年三ヶ月、新村建設計画に依つて新しい理想郷の建設に本腰を入れようとする時、未曾有の重大問題が起きました。既に皆様御承知の通り電源開発事業であります。北電が電力開発を決定する電力審議会は来る三月まで延期になりましたが、かかる重大問題に直面して自分の及ばざる事々々であります。が、いかにしたならば和泉村の発展繁栄が出来るか、全村民が幸福になれるか、日夜苦心していまして公議会に於ては既に昨年十二月ダム対策特別委員会を開催して、ダムの対策を樹立し、全村民一丸とな

りました。本村興発の岐路に立つ昭和三十三年を迎えるに当たりまして、新穀の端をのべ村民の皆様と共に一致団結して有史以來のこの難関を突破できますようお祈りして御挨拶と致します。

村政の足あと

十一月二十日

山林振興懇談会開催農林部長は七名来村

十一月二十四日 朝日小学校に於てダム協議会開催出席者二百数十名

十一月二十一日 臨時村議会開催

十一月二十二日 新農村振興事業中間調査に高志県事務所産業課長ほか二名来村

十一月二十六日 朝日幼稚園軸組検査出席者二百数十名

十一月二十五日 生活保護者打合会

十一月二十七日 堂森代議士講演会於朝日小学校

十一月二十九日 ダム委員会、岐阜県朝日ダム、御母衣ダム調査

十一月二十九日 土地改良工事分担金徵収条例案公聴会

十一月三日 第八回定期例村議会

十一月二十八日 ダム対策特別委員会

十一月二十九日 (終了式後の親子揃っての記念写真)
十二月二十三日(朝日幼稚園) 計

十一月二十八日 ダム対策特別委員会

十一月二十九日 一、朝日ダム視察の件

十一月二十九日 (終了式後の親子揃っての記念写真)
十二月二十三日(朝日幼稚園) 計

十一月二十九日 二、朝日ダム視察の件

十一月二十九日 三、ダム協議会高橋氏来村、経過報告、北陸電力案發表報告

十一月二十九日 四、質疑性格等について説明

十一月二十九日 五、ダム対策委員長報告今後の村議会のあり方

十一月二十九日 一、基本線

十一月二十九日 二、機構

十一月二十九日 三、ダム協議会が夫々の部門ごとに研究対策案を樹立。

前古未曾有の穴馬の転換、山と水の都和泉村のスタートは、単に行政区画の合併に止らず、ダムの築造によって具現しようとしている。合併によって「いづみ」と名乗りを揚げたのも何かの因縁のように思われる。後世何十年何百年経た時には、ダムができるために「いづみ」と改名したのだ、まさしくやかに語り継ぐ者もあることである。私は決してダムを誘致する者ではなく、むしろその反対

議会や協議会で論議せられて案が成立するであろうが、今の段階に於て私の考へる基本的なことはダ

前古未曾有の穴馬の転換、山と水の都和泉村のスタートは、単に行政区画の合併に止らず、ダムの築造によって具現しようとしている。合併によって「いづみ」と名乗る。会社はダム用地を買収しダムの水は自由に使用できると思うかも知れないが、その水は広大な和泉村の山から流れ込んだものである。山あつてこそダムが成立するのであつて、山がなかつたらダムは干せあつて仕舞う。山を考える。その文句だ。見事な山とは木である山に木を植えなければ村はあつて山に木を植えなければ村はあつて山高きが故に貴とからず、木あるを以て貴しとなす。昔の書物で父親から漢文の初步を習ったとき良の状態にしておかねばなりません。これが一番普通の手紙の旅なの

と山との一体性ということである。ダムはダム用地を買収しダムの水は自由に使用できると思うかも知れないが、その水は広大な和泉村の山から流れ込んだものである。山あつてこそダムが成立するのであつて、山がなかつたらダムは干せあつて仕舞う。山を考える。その文句だ。見事な山とは木である山に木を植えなければ村はあつて山に木を植えなければ村はあつて山高きが故に貴とからず、木あるを以て貴しとなす。昔の書物で父親から漢文の初步を習ったとき良の状態にしておかねばなりません。これが一番普通の手紙の旅なの

と山との一体性ということである。

山高きが故に貴とからず、木あるを以て貴しとなす。昔の書物で父親から漢文の初步を習ったとき良の状態にしておかねばなりません。これが一番普通の手紙の旅なの

と山との一体性ということである。

